

様式第2号（第8条関係）

会議録概要

会議の名称	平成30年度 第2回第19採択地区教科用図書採択地区協議会
開催日時	平成30年 7月 2日（月） 午前9時30分から午後0時10分まで
開催場所	羽生市勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）2階 特別会議室
議長氏名	秋本 文子
出席委員	渡邊 義昭 小林 義之 仲山 利樹 春山 教子 柿沼 拓弥
欠席委員	なし
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 第19採択地区教科用図書採択地区協議会長 3 調査員の教科用図書調査研究報告について 【小】国語、書写、社会（地図含む）、算数、理科、生活、音楽、 図工、家庭、保健 【中】特別の教科 道徳 4 事務連絡 5 閉 会
会議資料の名称	【次第】 【資料1】第18・19採択地区教科用図書研究調査報告書 【資料2】埼玉県教育委員会作成 調査資料（小学校） 【資料3】埼玉県教育委員会作成 調査資料（中学校） 【資料4】第19採択地区各小・中学校、保護者調査研究結果報告書（小学校） 【資料5】第19採択地区各小・中学校、保護者調査研究結果報告書（中学校）
会議の公開又は 非公開の別	公 開
非公開の理由	
傍聴者の数	11人
事務局職員職・氏名	羽生市教育委員会学校教育課長 細村 一彦 加須市教育委員会学校教育課長 藤間 隆子 羽生市教育委員会学校教育課指導主事 柿沼 宏充 加須市教育委員会学校教育課指導主事 齋藤 誠
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号 (第8条関係)

発 言 者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
細村学校教育課長	【開会】
秋本第19採択地区教科用図書採択地区協議会 秋本 文子会長	【あいさつ】 あいさつ 第19採択地区教科用図書採択地区協議会長
細村学校教育課長	【議事】 本日の資料確認 ① 次第 ② 【資料1】第18・19採択地区教科用図書研究調査報告書 ③ 【資料2】埼玉県教育委員会作成 調査資料 (小学校) ④ 【資料3】埼玉県教育委員会作成 調査資料 (中学校) ⑤ 【資料4】第19採択地区各小・中学校、保護者調査研究結果報告書 (小学校) ⑥ 【資料5】第19採択地区各小・中学校、保護者調査研究結果報告書 (中学校) の6点 特に資料2から資料5については次回の7/13までにお読みいただき選定の参考にしていただければと思う。 協議の進行については、第19採択地区教科用図書採択地区協議会規約第9条第2項により、第19採択地区教科用図書採択地区協議会会長の 秋本教育長 にお願ひする。
秋本会長	前回に引き続き、委員のみなさんにおかれましては、熱心な協議をお願ひする。 はじめに、第19採択地区教科用図書採択地区協議会規約第10条により、この会は公開とするが、よろしいか。
各委員	(賛成の声)
秋本会長	この会議を公開とする。 傍聴される方がいたら傍聴について説明し、案内するよう願う。
	(傍聴人 11人 着席)
秋本会長	事務局より研究調査報告について説明を願う。
柿沼指導主事	本日の研究調査報告ですが、担当指導主事が、教科ごとに全部の教科書について、調査研究員が作成した資料「第18・19採択地区教科用図書研究調査報告書」に基づいて報告する。 報告後、質疑を行う。報告は、小学校教科書は「平成31年度使用小学校教科書目録」、中学校道徳は「平成31年度使用中学校教科書目録」の順で行う。また、埼玉県教育委員会の調査資料を参照願う。

秋本会長	それでは協議を進めるが、質問はあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	それでは国語からお願いします。
【国語】 柿沼指導主事	<p>小学校 国語について報告する。</p> <p>東京書籍 新しい国語</p> <p>今年度の調査研究により平成 26 年度調査研究結果の【内容】＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための工夫＞に『「言葉の力」では下段に前学年の学習内容を記載し、既習事項を活かせる』と加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、てびきの「つながる」で既習の内容について明記し、学習内容の系統性を示している。 ・一教材一領域で学習のねらいを絞り、身につけたい力を教材中に示し、巻末「言葉の力のまとめ」で領域ごとにまとめている。 ・「漢字の学習」のページ〔各学年 8～9 カ所〕で、一学年下の担当漢字を書く問題が示されている。 <p>学校図書 みんなと学ぶ 小学校国語</p> <p>今年度の調査研究により平成 26 年度調査研究結果の【内容】＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための工夫＞に『ノートの例示など書き方の例が示されている』と加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、学び方を学ぶ教材を設けたり、言葉に関するページを設けたりしている。 ・習得した知識・技能を活用できるように、図解を用いた教材を設けたり、中学校で学習する漢字の読み方を示したりしている。 ・学校と家庭をつなぐために、巻末に、この教科書でどのような力を習得させようとしているのかをまとめた保護者向けのページを扱っている。 <p>三省堂 小学生の国語</p> <p>今年度の調査研究により、平成 26 年度調査研究結果の加除修正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、単元のはじめで、

熟語、例文と共に新出漢字を扱っている。

- ・巻頭で「〇年生で学習すること」の一覧表を、巻末で「おぼえておきましょう」のまとめの一覧をそれぞれ領域ごとに分けて扱っている。
- ・文字の確実な定着を図るために、1・2年生の巻末で「ひらがな・カタカナ表」、3～6年生の巻末で「ひらがな・かたかな・ローマ字の表やローマ字のきまり」を扱っている。

教育出版 ひろがる言葉

今年度の調査研究により平成26年度調査研究結果の【内容】〈主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫〉に単元のおわりに『振り返り』を設けている単元もある」という文言が加わった。

【総括】

- ・基礎的・基本的な知識・技能の活用を図るために、日常生活や他教科等でも活用できる書く力や話す聞く力をつけるための単元を配置している。
- ・「この本で学ぶこと」で学習した内容を一目で把握したり、「言葉の木・星座」で言語の広がりを意識したりできるように工夫している。
- ・カラーユニバーサルデザインを採用し、より多くの人が興味を持って、かつ見やすいように配慮して作成している。

光村図書 国語

今年度の調査研究により平成26年度調査研究結果の【総括】「単元目標を提示し、」が『単元目標とともに具体的な着眼点等を提示し、』と変更された。

【総括】

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、単元のはじめに単元目標とともに具体的な着眼点等を提示し、つきたい力や言語活動を明示している。
- ・「読むこと」で習得した知識・技能を、「書くこと」で活用できるような単元の配列にしている。
- ・巻頭に「いつも気をつけよう・続けてみよう」を掲載し、既習事項を振り返ったり、書くことを継続する方法を紹介したりしている。

以上で国語の報告を終わる。

秋本会長	質問、その他意見はないか。
渡邊委員	東京書籍の場合に、総括で「一学年下の配当漢字を書く問題が示されている」とあるが、他の教科書のところでその表現はないので、東京書籍の意図が何かあるのか。
秋本会長	事務局に説明を願う。
柿沼指導主事	それについては調査研究の中で報告はなかった。
秋本会長	よろしいか、他にあるか。
各委員	(質問等なし)
秋本会長	次に書写をお願いする。
齋藤指導主事	<p>小学校 書写について報告する。</p> <p>東京書籍 新しい書写</p> <p>平成 26 年度の調査研究からの変更、加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べよう・確かめよう・広げよう・学習を振り返ろう」の四段階の学習の手引きを設け、それに添うことで「基礎・基本・応用・復習・整理」の学習が進めやすいようにしている。 ・信用性を高めるとともに、書き込み欄を充実させるため、教科書のサイズを B5 ワイド版にしている。 <p>学校図書 みんなと学ぶ 書写</p> <p>平成 26 年度からの調査研究の加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の立場に立ち、原寸大の手本、疑問や気付きについての標記、イラストを使つての鉛筆の動かし方の解説等を示している。 ・硬筆と毛筆の関連を図りながら、指導事項の理解と定着を図るよう「毛筆の後に硬筆に活かそう」を設定している。 ・他教科との関連や実生活に活かされるような資料が充実している。 <p>三省堂 小学生の書写</p> <p>平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面全体の整いを意識させるための課題を多く載せている。また、整っていない文字の問題点を考えさせる「考えよう」のコーナーを設けている。 ・毛筆では、穂先の向きや特に筆の動きのポイントを図に示してあることで、姿勢や筆の動きが具体的に理解できる。

	<p>教育出版 小学書写</p> <p>平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真資料が豊富で視覚的に示すとともに、筆の特性を活かした書き方を図版で示しているので実践しやすく、書写で学んだことが他教科及び日常生活で活かすことができるようになっている。 ・基礎・基本となる書写用語を繰り返し掲載し、話し合い活動で活かせるような配慮もされている。 <p>光村図書 書写</p> <p>平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいに沿って書かれている文字はどれか、理由も併せて考えさせると言語活動の充実を図る内容となっている。 ・高学年では「学習の見通しを持とう」を巻頭に載せ、一連の学習の流れを示すことで、基礎・基本の定着が図られるようにしている。 <p>日本文教出版 小学書写</p> <p>平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆運びや、穂先の動きについて、特に気を付けさせたい基本の筆使いの写真を拡大して載せている。 ・題材には日本の伝統的な言葉を多く扱っている。 ・各学年の第一単元は全学年の学習を振り返り、最後の単元は学年のまとめを設定するなど積み重ねを意識した構成としている。 <p>以上で書写の報告を終わる。</p>
秋本会長	質問等はあるか。
渡邊委員	学校図書の総括で「学習者の立場を考え、原寸大の手本」というのは、その効果としてどんなことを期待しているのか。
齋藤指導主事	手本に大小の違いがあることについては、話し合いがされたが、指導のしやすさ等については主観となるため話し合いはされていない。
渡邊委員	大小の違いについては、どのようなことが話し合いに出てきたか。
齋藤指導主事	見やすさ、指導のしやすさというところでは話が出たが、主観となるためそれについて深く話し合うということにはなかった。
渡邊委員	もう一点、東京書籍では、特別に表現方法として「擬態語『トン・スー・ピタ』という表現を使って」とあるが、これについての実際の

	小学校での指導上はこの言葉は影響する可能性が出てきそうか。
齋藤指導主事	低学年では、感覚的な指導が効果的ではないかという話し合いがもたれた。
渡邊委員	低学年というと、具体的に何年生を考えているか。
齋藤指導主事	1, 2年生である。
渡邊委員	わかりました。
秋本会長	他にあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	次は社会・地図の順に進める。報告をお願いします。
齋藤指導主事	<p>小学校 社会・地図について報告する。</p> <p>東京書籍 新しい社会</p> <p>平成 26 年度からの追加として、特色の内容の「わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫」のところに『高学年において領土問題を明記している』が追加になった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に応じた学習の進め方が掲載され、問題解決の流れに沿った各段階のポイントが明示され、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。 ・学び方のコーナー、学習のまとめなどで基礎・基本の定着にも配慮されている。 <p>教育出版 小学社会</p> <p>平成 26 年度からの追加として、特色の内容「主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫」の 3 つ目、『もっと知りたいコーナーを設置し、学習を深める工夫を図っている』こちらが追加されている。</p> <p>もう一箇所、「わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫」の 2 つ目、『高学年において領土問題を明記している』こちらが追加された。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの手引きを各学年の巻頭に掲載し、問題解決的な中身の進め方が示されている。 ・作業的・体験的な学習活動を効果的に取り入れ、児童の意欲付けが図られている。 ・発達の段階において、文章で書き表すなどの多様な形式が取り入れられている。

光村図書 新しい社会

平成 26 年度からの追加として、特色の内容の「わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫」の 2 つ目、『高学年において領土問題を明記している』こちらが追加された。

【総括】

- ・各学年の巻頭に、発達段階に合わせた問題解決的な学習の手順や調べ方・まとめ方・伝え方などの例が示されている。
- ・導入部に大きな資料を提示し、児童の問題追求の意欲を喚起している。
- ・5, 6 年の教科書を一冊にし、学習内容の比較や還元を図りやすいよう配慮されている。

日本文教出版 小学社会

平成 26 年度からの追加として、特色の内容の「わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫」の 3 つ目、『高学年において領土問題を明記している』こちらが追加されている。

【総括】

- ・各学年に応じた教科書の使い方が掲載され、問題解決の流れに沿った各段階のポイントが明示され、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。
- ・学び方・調べ方コーナーなどで基礎、基本の定着にも配慮されている。

東京書籍 進展 新しい地図帳

平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。

【総括】

- ・地図の見方などの地図指導が巻頭の「地図帳の使い方」のページにまとめて掲示され、段階的に地図指導ができるようになっている。
- ・社会科の学習内容に関連付けながら、地図や資料を配列し、人物のキャラクターによる課題、一語話題などを盛り込んでいる。
- ・基本図に写真やイラスト、鳥瞰図などの資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。

帝国書院 楽しく学ぶ小学生の地図帳

平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。

	<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の区分にある「地図の約束・使い方」が巻頭にあり、段階を追った進め方が指導できるようになっている。 ・後半に資料ページや外国を理解するコーナー、環境問題を考えるコーナーをまとめて設けてある。 ・学習内容に則して欄外を有効に使い、課題・概念の説明、用語の解説を盛り込んでいる。 ・基本図に写真やイラスト、鳥瞰図などの資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。 <p>以上で社会・地図の報告を終わる。</p>
秋本会長	社会・地図について質問等はあるか。
仲山委員	先生によって異なると思うが、社会の一般的な教科書を使つての授業の45分間の流れは、どんな風に流れていくのが普通であるか。特別奇をてらわれないで授業をしたとすると。パターンで表現することができたとするとどうするのが主流であるか。
齋藤指導主事	総括の中に学習の進め方やこういう学習活動ができるという表現でまとめられている。
仲山委員	教師が教科書を使う時にどの教科書が良いか判断するのに、この総括の欄に書いてあることが参考になるので、社会の授業では先生方はどうされているか。
齋藤指導主事	調査研究の中ではそのことについてはなかったが、社会の授業としては、学習内容・課題やねらいの提示を行い、その課題を達成するための教育活動の取り組みを行い、それをまとめるというようなかたちで進めるのが一般的な進め方である。
細村学校教育課長	補足である。社会科はまず課題を提示し、「社会科らしい授業」として「地図を読み取ったり、資料・写真・グラフを読み取ったりしながら、子供たちが話し合いを進め、課題に対する結論・まとめを導き出す」という授業がオーソドックスな授業として推奨されている。
仲山委員	教科書は、教科書によって単元・課題をどうするかということはまちまちか。
細村学校教育課長	まちまちである。
仲山委員	その課題を解決するためにその途中で「地図を見たり、グラフを見たりする」というのはみんな教科書によって違うが、まとめのところは同じような結論に至るようになっているのか。
細村学校教育課長	そうである。
小林委員	4社社会に共通している「高学年において領土問題を提起している」

	を後で確認したいと思うが、高学年とは共通して5年6年であるか。
齋藤指導主事	6年生の教科書において、領土問題について明記されている。
柿沼委員	今の問題に追加であるが、低学年においては領土問題の明記についてその表現は出ているか。
齋藤指導主事	3, 4年生においては記述はなかった。
秋本会長	他にあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	次に算数をお願いします。
齋藤指導主事	<p>小学校 算数について報告する。</p> <p>東京書籍 新版 新しい算数</p> <p>平成26年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の具体的な授業展開が明示されていたり、試行の手順や観点が示されていたり、児童が自分の言葉で説明する活動を促すと問題解決的な学習を通して数学的な思考力・表現力を高められるような配慮がされている。また、児童が目的意識を持って主体的に取り組めるよう、分からない学習内容について児童自身で学び直しができる構成になっている。 <p>大日本図書 新版 新しい算数</p> <p>平成26年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習が展開できるよう、解決の仕方を複数提示したり、考えの手がかりとなる引き出しを適宜設けたりして主体的に学習を進められる構成になっている。また、生活との関連を意識させるため各題材の導入ページで多くの写真を用いたり、巻末の索引で算数科の用語や重要事項の振り返りが容易にできたりとの配慮もある。 <p>学校図書 みんなと学ぶ小学校算数</p> <p>平成26年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に数学的な考え方を例示すると系統的に学習を進めるための単元構成に工夫が見られる。 ・中学校との円滑な接続が図れるよう「中学校への架け橋 別冊」が設けられている。 ・児童が興味・関心を持って主体的に学習が進められるよう作業的・

体験的な算数的活動を多く取り入れ、明示した構成となっている。

教育出版 小学校算数

平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。

【総括】

- ・学習した内容が実際にどんな場面で活用されているのかを示したコーナーを設け、学習内容の広がりが見られる。
- ・作業的・体験的な活動や考えたり説明したりする算数的活動を重視し、児童が主体的な問題解決を通して知識や技能を修得できるように構成されている。

啓林館 わくわく算数

平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。

【総括】

- ・数学的な見方や考え方を育成することに配慮し、児童が主体的に取り組むことができるよう問題解決的な学習を中心に構成されている。
- ・ノート作り話し合いの仕方等が示され、児童が探求的に活動できるような構成になっている。
- ・文章題の単元を設けて数学的な考え方を取り上げ、論理的な思考力が高められるよう配慮されている。

日本文教出版 新版 楽しい算数

平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。

【総括】

- ・児童自ら算数の学習の仕方を学び、主体的に問題解決的な学習が進められる構成になっている。
- ・作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活かせるような算数的活動の内容が具体的に示されている。
- ・既習の学習や次の学習のためのページがあり、学習の系統性を重視している。
- ・発表の仕方、話し合いの観点が示され、解決・発表・話し合い等の活動の手助けとなっている。

以上で算数の報告を終わる。

秋本会長

質問等はあるか。

春山委員	算数の教科書で別冊になっているものがあると思うが、その活用について調査委員会では何か話はあったか。
齋藤指導主事	調査研究の中では学校図書の別冊に関して「中学校の接続に向けて設けられている」という話は出たが、それ以外のところではなかった。
秋本会長	よろしいか、他にあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	次に理科をお願いします。
【理科】担当 齋藤指導主事	<p>小学校 理科について報告する。</p> <p>東京書籍 新編 新しい理科</p> <p>平成 26 年度の調査研究からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次が領域別に示されている。 ・巻頭で問題解決の流れを示し、理科の学び方のイメージを持てるようにしている。また、安全に配慮が必要な箇所には赤で「危険」のマークを配備し注意を促している。 <p>大日本図書 新版 楽しい理科</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の仕方を「理科の学び方」で示し、問題解決の流れを確認しながら学習を進めることができるようになっている。また、安全に配慮が必要な箇所には「注意」のマークを配置し、注意を促している。 <p>学校図書 みんなと学ぶ小学校理科</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で「科学の芽を育てよう」を提示し、学習の流れを意識させるとともに、前学年までに重点を置いてきた学習の仕方について振り返っている。また、安全に配慮が必要な箇所には「注意」のマークを配置し、注意を促している。 <p>教育出版 未来をひらく小学理科</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭に、児童自ら問題を解決していくための学習の順序と

	<p>「何学年の学び方」が示され、学習の流れを意識させている。また、安全面では「注意」マークと「危険」マークの2種類で注意を促し、事故防止に配慮している。</p> <p>啓林館 わくわく理科</p> <p>平成26年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭にある「学習の進め方」で学習の流れを示し、学び方のイメージをしっかりと持てるようにしている。また「わくわく理科クラス」で言語活動を重視した記述を取り入れ、主体的な学習ができるよう配慮されている。 <p>以上で理科の報告を終わる。</p>
秋本会長	質問はあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	最後の啓林館のところに「安全面」という言葉が総括には入っていないが、そのことについて何か報告はあったか。
齋藤指導主事	調査研究の中では理科の授業は安全面の配慮が大変重要であり、どの教科書についても安全面について十分な配慮がされており、注意が喚起されているというような話し合いがもたれた。
秋本会長	他に質問等はあるか。
仲山委員	各社とも総括のところで「問題解決の流れ・理科の学び方・学習の進め方・学習の仕方・学習の順序等」と表現は違うが、理科の学習の一般的な45分の流れはどのようになるのか。45分で解決しない時もあるとは思うが。
柿沼指導主事	その話し合いについては調査研究の中ではなかったが、一般的な理科の流れとして、自然の事物・現象をまず子供たちに捉えさせ、不思議だなという気持ちを喚起させながら問題を子供たちと一緒に作り、その問題を解決していくための手段・手立てを教師と子供たちで作り上げながら実験・観察を行ってそれをまとめていくという流れである。各社とも文言は異なるが流れは一緒である。
仲山委員	はい、ありがとうございます。
秋本会長	他にあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	よろしいか、次に進める。次に生活をお願いします。
齋藤指導主事	小学校 生活について報告する。

東京書籍 新しい生活

特徴・内容について平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。

【総括】

- ・他教科等との関連、幼児教育、第三学年以降の社会科、理科、総合的な学習との接続に対する配慮がなされている。
- ・児童の思考を促し、気付きの質を高めるための教師の言葉かけや板書など指導・支援の例が随所に掲載されている。
- ・単元の扉ページに「便利手帳 完全ページ」を示し、便利手帳が活用しやすいようになっている。

大日本図書 新版 楽しい生活 上：なかよし 下：はっけん

平成 26 年度からの追加として「主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫」の 1 つ目、『児童が興味・関心を持ちの「興味・関心」』という言葉が追加されている。

【総括】

- ・季節に合った大単元の構成で人・社会・自然を活かした立体的な流れの中で「なかよし」から「はっけん」へと発展させている。
- ・生活に根ざした語彙力や表現力を豊かにするための「生活ことば」生活習慣の習得につながる「学習道具箱」が設定されている。

学校図書 小学校生活

平成 26 年度の調査報告からの追加として、内容の「思考力・判断力・表現力等を構成するための工夫」の 2 つ目、巻末に『「君ならどうする」のページを設定し、「思考・判断をする時のヒントを与えている」』の一文が追加されている。

【総括】

- ・「学び方図鑑・生き物図鑑」は丸を付けることで児童が自分自身で確かめながら活動を振り返ることができるようになっている。
- ・学習体験が広げられるように単元の中に「物知りノート」があり、様々な遊び方や表現方法等が紹介されている。

教育出版 生活

平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。

【総括】

- ・モジュール授業の目安となる教科マークを示し、国語・音楽・図工は多くの活動で合科・関連が図れるように配慮されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り自己評価し「お家チャレンジ」で学習したことを家庭や地域で広められるように工夫されている。 ・「地域となかよし」マークを配置し、環境に配慮した活動にするよう投げかけている。 <p>光村図書 生活 上：みんなだいすき 下：みんなともだち 平成 26 年度の調査報告から内容に関する追加はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動意欲に配慮した「ホップ・ステップ・ジャンプ」の三段階の単元構成になっている。 ・上下巻末に季節ごとの動植物や四季の変化を表した「季節の贈り物」を配置し、年間を通して自然に対する興味・関心を持たせている。 <p>啓林館 わくわく生活 上 生活探検ブック いきいき生活 下 平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外活動が行いやすいように「探検ブック」が別冊教科書になっている。 ・四段階の単元構成（導入、主活動、交流活動、広げ深める、「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」）になっている。 <p>日本文教出版 わたしと生活 平成 26 年度の調査報告からの追加として「表記・表現」の 3 つ目、『読み込みページを多用し、見開きで流れが理解できるように工夫されている』が追加されている。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムが 7 項目掲載され、生活面や安全面など入学当初の様々な教育活動に活用できるように配慮されている。 ・巻末の「なんでも図鑑」に福祉・環境・食育・防災等の今日的課題に関する資料が豊富に掲載されている。 <p>以上で生活の報告を終わる。</p>
秋本会長	質問はあるか。
小林委員	大日本のところで児童が興味・関心を持ちの「興味・関心」という言葉が追加されたとしているが、調査員の報告に追加されたということか、それとも本体が何か変わったことに伴ってそうなったのか説明を願う。

齋藤指導主事	教科書の内容が変わったということではなく、調査研究の中でこの文言が入った方がより特徴を表すのに良いだろうということで付け加えたものである。
小林委員	わかりました。
秋本会長	他にあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	次に進める。音楽をお願いします。
柿沼指導主事	<p>小学校 音楽について報告する。</p> <p>教育出版 音楽のおくりもの</p> <p>今年度の調査研究により平成26年度調査研究結果の【内容】<音楽活動の基礎的な能力を培うための工夫>に「音楽づくりでは、児童の思いや意図、創意工夫が生かせるように発達段階に応じた学習の手順、活動例、約束事、ヒント等が具体的に示されている」という文言が加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数は発達段階に応じて少しずつ増えている。 ・挿絵、写真、イラストの数は、発達段階を考慮して低学年に多く使用されている。 <p>教育芸術社 小学生の音楽</p> <p>今年度の調査研究により平成26年度調査研究結果の【教科の目標とのかかわり】に『題材の系統的な設定と題材のねらいを踏まえた学習の目標が示され、表現と鑑賞の関連を図りながら学びがつながるように配置されている』と加わった。また、【内容】<音楽活動の基礎的な能力を培うための工夫>に『音楽づくりでは、学習のねらいや作り方の手順、活動例、約束事、ヒント等が具体的に示され、児童が見通しをもち、無理なく学習を進めることができる』と加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数は発達段階に応じて少しずつ増えている。 ・挿絵、写真、イラストの数は、発達段階を考慮して低学年に多く使用されている。 <p>以上で音楽の報告を終わる。</p>
秋本会長	質問等はあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	よろしいか。次に進める。図画工作をお願いします。
柿沼指導主事	小学校 図画工作について報告する。

	<p>開隆堂 図画工作</p> <p>今年度の調査研究により、平成 26 年度調査研究結果の加除修正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひらめきコーナー」では、学年の発達段階に応じて、楽しみながら短時間で表現活動ができるように工夫している。 ・「みんなのギャラリー」や裏表紙には、地域に合った材料や場所、自然や伝統文化が取り上げられ、郷土愛をはぐくむように工夫している。
	<p>日本文教出版 図画工作</p> <p>今年度の調査研究により平成 26 年度調査研究結果の【総括】『「使ってみよう材料と用具」で、材料や用具の扱いに関するページを 6 ページ設定し、写真や絵で分かりやすくていねいに示している』と加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「使ってみよう材料と用具」で、材料や用具の扱いに関するページを 6 ページ設定し、写真や絵で分かりやすくていねいに示している。 ・「ぞうけいのもり」では、学年に応じたテーマを楽しく鑑賞でき、裏表紙の「形や色を楽しもう」では、書き込んだり試したりするように工夫している。 <p>以上である。</p>
秋本会長	質問等はあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	よろしいか。次に進める。 家庭をお願いします。
柿沼指導主事	<p>小学校 家庭について報告する。</p> <p>東京書籍 新しい家庭</p> <p>今年度の調査研究により平成 26 年度調査研究結果の【内容】〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉に『レポート例や製作計画・実習カード例があり、指導の参考となっている』と加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を繰り返すことで、基礎的・基本的な知識と技能が身に付けられるように工夫されている。 ・自分の成長を実感、確認し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

	<p>開隆堂 私たちの家庭科</p> <p>今年度の調査研究により平成 26 年度調査研究結果の【内容】＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞に『観察や実習の際のレポート作成や考察・発表等の場面が、学習過程の各所に設定されている』と加わった。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を繰り返すことで、基礎的・基本的な知識と技能が身に付けられるように工夫されている。 ・豊富な資料を活用して、家庭での実践につなげられるような工夫がされている。 <p>以上で家庭の報告を終わる。</p>
秋本会長	質問等はあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	よろしいか。次に進める。保健をお願いする。
齋藤指導主事	<p>小学校 保健について報告する。</p> <p>東京書籍 新編 新しい保健</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習内容を実践的に理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ・学習内容の詳しい説明や授業後に調べると良い内容が紹介され、主体的に学習ができ、実生活に則した場面の検証や事例についての思考等の活動を通して思考力・判断力・表現力の育成を図れるようになっている。 <p>大日本図書 新版 楽しい保健</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を通して実践的に基礎的・基本的な学習内容を理解できる構成になっている。 ・「話し合ってみよう」等の活動場面を設け、課題解決学習ができるよう工夫されている。 ・単元の終わりに生活実践するために書き込み形式の「活用」を設け、思考力・判断力・表現力を育成する内容になっている。 <p>文教社 わたしたちの保健</p>

	<p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活行動、環境科の学習課題を見つけ、実践的に基礎的・基本的な知識を習得し理解できる構成になっている。 ・思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう、自分の考えを表現して思考を深める学習を取り入れている。 ・「発展」を設け、健康な生活を送る資質や能力を育成できる内容になっている。
	<p>光文書院 新版 小学保健</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が理解しやすいイラストや図表・写真を多用した紙面構成となっている。 ・習得すべき基礎的・基本的な学習内容を明確にし、これらを活用する思考力・判断力・表現力を育成することを意識した流れになっている。また、今日的な健康課題についても触れ、実践的な理解が図れる内容になっている。
	<p>学研教育 新みんなの保健</p> <p>平成 26 年度の調査報告からの加除訂正はない。</p> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や周りの環境の様々な健康課題に対応し、健康・安全についての基礎的・基本的な知識の実践的な理解とその活用ができるような構成になっている。 ・資料を基に話し合ったり、今後の生活に活かしたいことを考えたりする中で思考力・判断力・表現力を育成できる内容になっている。 <p>以上で保健の報告を終わる。</p>
秋本会長	質問等はあるか。
渡邊委員	<p>どこの教科書会社ということでもないが、最近議会のほうで「性教育」と「がん教育」に対しての流れが増えてきている。政党の方針だと思うが、そうなってきた時に教科書で全て対応するということが不可能な状況ではないか。その際に教科書の存在は危うくなってきた感じがするが、その方法や対策というのはあるのか。教科書とはずれてくると思うが、いかがか。</p>
齋藤指導主事	それについて調査研究の中では話はないが、教科書の中でもそうい

	った内容に対応して表記がある、というような話し合いがされていた。
渡邊委員	羽生では議会でそういう話はなかったか。
細村学校教育課長	羽生市ではがん教育や性教育について議会で質問されるようなことはなかった。
秋本会長	よろしいか。他にあるか。
各委員	(特になし)
秋本会長	中学校特別の教科道徳に進む前に10分間の休憩とする。
	(10分休憩)
秋本会長	中学校 特別の教科道徳について報告をお願いします。
柿沼指導主事	<p>中学校 特別の教科道徳について報告する。</p> <p>東京書籍 新しい道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり<道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ・各学年の冒頭の「道徳の時間はこんな時間」において学習の流れと振り返りのポイントを示している。 ・各教材の冒頭に置かれた授業のテーマとなる「ねらい」を活用し、学級全体でねらいを共有することでねらいに沿って考えを深めることができ、テーマに対応した設問の教材の末尾の「考えてみよう！」に置くことで、ひとつのテーマで教材を一貫して扱えるようにしている。 <p><人間としての生き方への考えを深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にオリエンテーションがあり、教材ごとに「つぶやき」コーナーがある。また、巻末に切り取り式の自己評価用紙があり、見通しと振り返りを設定し、生徒が主体的に取り組めるようにしている。 <p><道徳性を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンターを設定している。また、教材末の「考えてみよう」の問いにより、道徳的価値を実践的なものにすることができ、巻末の「自分の学びを振り返ろう」により、自身の変異を感じることができる。 <p>・特色・内容</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に2つの直接的な教材と1つの活動を組み合わせて3時間扱いとしたユニット「いじめのない世界へ」を設定している。 ・環境問題や情報モラル、生命倫理、持続可能な社会の形成などを扱

	<p>っている。</p> <p><発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの内容項目を3学年で系統的に配置し、学年を追ってより深く考えられるようにしている。 ・1年は郷土の学習、2年は国の学習、3年は国際理解の学習をそれぞれ重点項目にし、段階を経て考える範囲が広がるようにしている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材に1カ所「つぶやき」コーナーを設け、書き込んだ内容をグループやクラスの話し合いや自己評価の時に活用することができる。 ・各学年に2カ所の役割演技を主体とした「ACTION!」を設定している。 ・各学年巻末に切り取り式ホワイトボード用紙・心情円があり、グループ活動などで活用することができる。 <p>・特色・資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入に漫画を用意し、考え・議論する際の手がかりとなっている。 ・ページをまたぐ大きな写真を掲載している。 ・最近話題となったスポーツ選手の経験談や漫画・新聞、震災を扱った教材がある。 <p>・特色・表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。 ・内容項目は4つの視点別に色分けしている。 ・特別支援教育の観点から書体にはUD（ユニバーサルデザイン）書体を使用し、一般の書体よりやや太めの文字を使用している。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとの学習の流れは、考え・議論する学習が展開できるよう構成するとともに、漫画を利用した導入や役割演技など、さまざまな学習方法を提示している。 ・教材ごとに問題解決的な学習の流れを提示し、考え・議論する学習を意識して掲載されている。 <p>学校図書 かがやけ みらい 中学校道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり <p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の発問には「考えよう」「見つめよう」等のマークを付け、学習活動を明確に提示している。 ・目次ページの下部に道徳学習の流れを示し、学習の進め方や態度等
--	--

留意点について学習の展開に沿って解説している。

<人間としての生き方への考えを深めさせる工夫>

- ・各学年の冒頭に「道徳の時間を始めよう！」を置き、考えを深めさせるための手立てを示している。
- ・課題を発見し、主体的な学びを行うために基本・中心・後段の発問を提示し、見方を広げたり考えを深めたりすることで、大事なことを自分自身のこととして見つめられるようにしている。

<道徳性を育成するための工夫>

- ・22の内容項目に対応する「心の扉」を設定し、生徒が道徳的価値について自分のこととして捉えることができるよう、身近なことを問いにした書き込みスペースを設けている。

・特色・内容

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫>

- ・各学年ともに、「公正・公平・社会正義」の項目でいじめにつながる問題に正対して考えるように配慮している。また、生徒の学校生活の中で陥りやすい場面を取り上げ、生徒の日常の在り方について考える教材を扱っている。

- ・情報モラル問題、安全確保については各学年で偏りなく扱っている。

<発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫>

- ・社会参画、公共の精神では、1年では学校で取り組む身近なボランティア、2年では地域社会を支えるボランティア、3年ではより広い社会・世界でのボランティア活動と、学年を追って深まる学びを配列している。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

- ・発問には「考えよう」「意見交換」「みつめよう」と示したマークを置いて、活動が端的に分かるようにしている。
- ・問題解決的な学習・体験的な活動については、教材の特性に合わせて発問を工夫し、役割演技なども取り入れている。

・特色・資料

- ・各学年の巻末には「保護者の方へ」のページを設け、学年の学習内容を解説しているページがある。

- ・漫画・新聞・図表などを多用し、詩や写真、伝記なども用いている。

・特色・表記・表現

- ・4つの視点のアイコンを4種のテーマカラーで表示している。発問からだけでなく、現代的な課題などを網羅する10種のポイントマークを使用している。

- ・中学校配当漢字と常用外漢字及び固有名詞等についてはその都度振り仮名を付け、生徒の読みの負担を軽減している。

【総括】

- ・大切にしたい4つの繋がりとして「命」「人・社会」「自然」「世界・文化」を念頭に学期前に必ず4つの視点の学習を行うよう教材配列をしている。また、学校生活の全ての場面に生きる基盤形成のために、良好な学習集団の構築をねらったグループワーク、「学級づくり」を各学年の冒頭に設置している。

教育出版 中学校道徳 とびだそう未来へ

- ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり

<道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫>

- ・教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入ることができる。教材の末尾に「学びの道しるべ」を設け、物事を自分に引きつけて考えたり、多面的・多角的に考える際の助けとなる発問を示し、対話的な学びを深めたりすることで、道徳的価値の理解を深め、考えや心の変容が実感できるようになっている。

<人間としての生き方への考えを深めさせる工夫>

- ・巻頭にオリエンテーションがあり、現在の自分自身を見つめ、道徳の学習を通して考え、深めていきたいことをつかめるようにしている。

<道徳性を育成するための工夫>

- ・巻末に振り返りのページがあり、学期ごとにふり返り、学びを積み重ねることで自分の変容を確かめ、次の学年へとつなげることができる。

・特色・内容

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫>

- ・「生命の尊さを考える」「いじめや差別のない社会へ」「情報とより良く付き合う」を重点テーマとしている。
- ・いじめ問題について各学年とも直接的な教材、間接的な教材を取り入れ、スパイラルに学習することで問題の本質にせまっている。

<発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫>

- ・1年では身近な生活場面での出来事を題材にした教材、2年では実話をもとにした教材、3年では良心の尊さについて考えを深め、白らの

生き方に生かしていくことができる教材を取り入れている。

- ・3学年を通した「雅史・由紀・美佐」を主人公としたシリーズと「けやき中」を舞台としたシリーズの教材があり、同世代の主人公の関係や気持ち、行動を通して考えることにより、生徒が切実感をもって考えることができる。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

- ・登場人物が判断を迫られる場面が中心となる教材や、異なる立場からの考えや意見を取り上げた教材、社会全体の変化や動向を素材とした教材を取り上げている。生徒自身の考えやその根拠を問い、どうあることがよいのかについて多面的・多角的に考えを深めることができる。
- ・「やってみよう」という活動ページを設け、読み物教材とセットで配置したことで、無理なく取り組めるようにしている。
- ・特色・資料
- ・比較的短い教材が多く、ページをまたぐ大きな写真やグラフを通して考えを深める教材を扱っている。
- ・地図や生徒の作文、歌詞、絵本、漫画、新聞記事などを取り入れている。
- ・特色・表記・表現
- ・場面ごとに区切りを明確にすることにより、教材の内容理解がしやすくなっている。本文には5行ごとに行番号がつけられている。
- ・1年生の前半部(1~10)の教材本文には、他の教材より大きい文字を使用し、小学校から中学校への移行がスムーズになるようにしている。

【総括】

- ・生徒の生活実態を描いた共感的に読める教材、切実感をもって考えられる教材が多く、日常の生活で道徳的行為や習慣に結び付けられるようにしている。同世代の主人公の気持ちや行動を通して、自分のこととして考えることで変化や成長を実感したり、課題や目標を見つけられたりできるようになっている。

光村図書 きみがいちばんひかるとき

- ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり
- <道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫>
- ・教材の冒頭に主題名を置き、ねらいとする道徳的価値を生徒が意識して取り組めるように構成されている。教材の末尾に、学びのテー

マ、考える観点、自身へのふり返りにつながる活動例が示されている。

<人間としての生き方への考えを深めさせる工夫>

- ・巻頭に、道徳の時間の初めにあたっての詩及びオリエンテーションのページがあり、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。コラムのページを挿入し、社会生活での場面例を示し、自身で考えたり友達の意見交換をしたりすることで、生き方への考えを深められるようにしている。

<道徳性を育成するための工夫>

- ・巻末に「学びの記録」を設け、教材ごとに記録した「私の気づき」を基にしながらふり返り、自身の変容を実感できるようにしている。
- ・特色・内容

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫>

- ・「情報モラル」「関係づくり」「共生」「いじめ」「環境」「社会参画」「国際理解」に重点を置き、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を設定し、深化を図っている。
- ・全学年に情報モラルの内容を扱ったコラムを読み物教材と組み合わせ提示し、生徒の実生活と関連した学びとなるようにしている。

<発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫>

- ・「生命の尊さ」を重点テーマとして各学年3教材掲示している。誕生の喜び、臓器移植、尊厳死などを扱い、さまざまな観点から生命に対する考えを深められるようにしている。
- ・1年を4シーズン「自ら考えて」「仲間とよりよい生活を送るために」「広い視野で」「共に学び合いながら」を設定し、学校生活の実態とそれに伴う生徒の成長を考慮して教材を配列している。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

- ・「学びの広場」を付録として設け、小学校での教材を補充教材として扱い、中学生の視点で考え直すことで深い学びにつなげられるようにしている。
- ・全学年で人とよりよい関係を築くためのコツを身に付ける取組を学年の前半に配し、学級づくり、友達との関係づくりに生かせるようにしている。
- ・特色・資料
- ・絵や写真を見開き1ページに一つ以上配し、視覚に訴える構成としている。
- ・巻末に4つの視点、内容項目で分類した教材一覧表が掲載されてい

る。

- ・全学年の付録に各分野で活躍した人物からの、生徒に向けたメッセージを掲載し、生徒の学習意欲を喚起するようにしている。
- ・特色・表記・表現
- ・教材ごとに学習指導要領の4つの視点を印で示している。索引はテーマによって分類している。
- ・常用漢字は固有名詞等を除き、全てにふり仮名が付けられている。情報等は脚注で解説している。

【総括】

- ・主体的・対話的で深い学びの展開を重視している。教材ごとに「てびき」が用意され、生徒が教材を通して何を学ぶのかを「学びのテーマ」で示し、テーマに迫るための発問が設けられることで、生徒が「考え、議論する授業」が展開できるようにしている。

日本文教 中学道徳 あすを生きる

- ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり<道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫>
- ・教材の冒頭に主題名を置き、ねらいとする道徳的価値を生徒が意識して取り組めるよう構成されている。教材の末尾に、考えを深めさせる発問及び自身へのふり返りにつながる発問が示されている。
- <人間としての生き方への考えを深めさせる工夫>
- ・巻頭に、道徳の時間の初めにあたっての詩及びオリエンテーションのページがあり、道徳を学ぶ意義について示している。別冊道徳ノートに自分について記述するページを設け、自己を見つめられるようにしている。参考資料を挿入し、社会生活への関連を示し、考えを深められるようにしている。
- <道徳性を育成するための工夫>
- ・道徳ノートの「自身にプラスワン」及び毎時間のふり返りを記す欄を通して自身の変化や成長を確かめられるようにしている。
- ・特色・内容
- <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫>
- ・「いじめ」「安全」「情報」「環境」「伝統・文化、国際理解」の五点に重点を置き、複数の教材とコラムを組み合わせることでユニット化し、内容を集中的に扱い、定着を図れるようにしている。
- ・全学年に情報モラルを扱った教材を配し、コラムで情報教育の光と影について実生活に照らし合わせて考えられるようにしている。

- <発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫>
- ・「いじめと向かい合う」を重点テーマとして、各学年で2教材以上掲載している。1年生では7教材掲載し、いじめの定義、アンガーマネジメント等を扱い、いじめ防止を図っている。
 - ・1学年「であう」2学年「みつめる」3学年「ひらく」と大テーマを設定し、自己理解、社会参画意識、国際社会への意識と、発達段階に配慮して教材を選定し、学びの質を向上させている。
 - ・1年間を「導入期」「発展期」「充実期」に分けて教材を配列することで、発達の段階や他の教育活動との関連を踏まえ、補充・深化・統合を図っている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

- ・教材の末尾に「考えてみよう」を配してねらいに迫るための発問を提示し、自分の考えを広げたり道徳的価値の理解を深めたりできるようにしている。

・特色・資料

- ・絵や写真が1ページに1つ以上配置され、視覚に訴える構成となっている。

- ・巻頭索引は教材をテーマ毎に分類している。

- ・先人・偉人を題材とした教材を多く取り上げている。

・特色・表記・表現

- ・教材ごとに、学習指導要領の4つの視点を文字色で示している。索引はテーマによって分類している。

- ・中学校で学習する漢字に振り仮名が振られている。情報等は脚注で解説している。

【総括】

- ・巻頭や「道徳ノート」で道徳科の学習のねらいや学び方を発信したり保護者記入欄を設けたりして、学校、家庭、地域の連携を図っている。「学習の進め方」の項と道徳ノートを併用することで、対話的な学びをサポートし、生徒が主体的に「考え、議論する道徳」を実現できるようにしている。

学研 中学生の道徳 明日への扉

- ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり

<道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫>

- ・生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培えるよう、主題名をあえて教材中に記載せず、生徒の問題意識を大切に

ている。また、問題解決的な学習の道筋を「深めよう」に提示している。

<人間としての生き方への考えを深めさせる工夫>

- ・巻頭に道徳の授業の学び方を紹介するページと詩があり、合わせて次のページに自分のことを記述させることで問題意識をもって取り組み、自己を見つめられるようにしている。

<道徳性を育成するための工夫>

- ・巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びをふり返るページがあり、1冊全体で1年間の自分の変容を感じられる構成になっている。

・特色・内容

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫>

- ・「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとしている。
- ・特設ページ「クローズアップ プラス」で、3テーマ（メンタルトレーニング・アンガーマネジメント・自己肯定感）を取り上げ、「生命尊重」「いじめ防止」につなげている。

<発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫>

- ・1冊全体を通してストーリー性のある配列をしている。
- ・巻頭に自分を見つめるページ、巻末に学びをふり返るページがあり、1年間の自分の変容を感じ、これからの生き方を考えることができる、主体性や自尊感情を高める構成となっている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

- ・物事を多面的・多角的に考え、議論することができるよう、異なる複数の意見の掲示や、関連情報の提供をしている。
- ・「地球と地球の未来のために」「スポーツの世界で共に輝く」という観点で、それぞれ複数教材を関連させるなど、多様な展開で学びを深められるようにしている。

・特色・資料

- ・教材で学習したことを基に、考えを深め、広げるための学び方のページがある。スポーツに関する教材、オリンピック・パラリンピックに関する題材を多く取り上げている。
- ・印象的な挿し絵や写真で、生徒が興味・関心をもちやすいようにしている。

・特色・表記・表現

- ・学習指導要領の4つの視点による色分けを明示している。
- ・すべての読み物資料が見開きで始まる。難解語句は脚注で解説して

いる。

- ・書体にはUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用している。

【総括】

- ・自分らしい豊かな生き方を切り開くことのできる「プラス思考」と「未来志向」を備えた生徒の育成を目指している。生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視しており、特定の価値観を押し付けることなく、生徒の問題意識を大切にした構成・展開になっている。

廣済堂あかつき 中学生の道徳

- ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり
＜道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫＞
- ・教材、道徳ノートの2分冊構成となっている。各教材に学習の手がかりとなる「考える・話し合う」を配置し、生徒の主体的な思考、対話的な活動を促している。道徳ノートは内容項目別に構成され学習内容を明確にしている。
- ＜人間としての生き方への考えを深めさせる工夫＞
- ・巻頭に道徳の授業の学び方を紹介するページと詩があり、生徒が問題意識をもって取り組めるように示している。別冊ノートには、巻頭に自分のことを記述して自己を見つめ、生き方について考えをより深められるようにしている。
- ＜道徳性を育成するための工夫＞
- ・道徳ノートは価値ごとに構成されており、授業を通して感じたことや考えたことを記述したり、記述したことを繰り返しふり返ったりすることで、生徒が自分の変容や考えの深まりに気付くようにしている。
- ・特色・内容
- ＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫＞
- ・「自主、自律、自由と責任」「生命の尊さ」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を重点とし、最大時間数年間3時間を配当している。とくに「生命尊重」に重点を置いている。
- ＜発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫＞
- ・「生命の尊さ」を重点項目とし、同年代の少年の話や、家族、生命倫理などを取り上げている。
- ・道徳ノートの問いの中には自己の生活やさまざまな体験活動との関連を図っているものがある。道徳的諸価値についての理解をもとに

自己を見つめ、人間としての生き方について考えをより深められるようにしている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

- ・教材ごとに「考える・話し合う」を配置し、生徒が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできるようにしている。
- ・道徳ノート巻末に「心のしおり」があり、教材ごとに自己評価できるだけでなく、内容項目ごとにも自分の在り方、生き方をふり返って評価することができる。

・特色・資料

- ・道徳ノートには生徒の学習意欲を喚起する写真や、物事を広い視野から多面的・多角的に捉えるための図やグラフ、先人の逸話や言葉を掲載している。
- ・巻末には「情報モラル」「持続可能な社会」について考えるページを特設している。

・特色・表記・表現

- ・学習指導要領の4つの視点で教材を色分けしている。
- ・難解語句は脚注で解説している。配当漢字及び、未習の漢字にはすべて振り仮名が付けられている。

【総括】

- ・教材・道徳ノート2分冊構成になっている。教材ごとに「考える・話し合う」を設置し、学習の手がかりを示したり、考えを広げたり深めたりできるようにしている。さらに、道徳ノートの「心のしおり」では自己評価をし、ふり返りができるようにしている。教師の柔軟な授業づくりに対応している。

日本教科書 道徳

- ・教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり

<道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫>

- ・各教材に「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」に発問が書かれ、生徒の学習の筋道が提示されている。

<人間としての生き方への考えを深めさせる工夫>

- ・巻頭に詩を用意しており、改めて自分を深く見つめるきっかけとしたり、学びの集大成としての人の姿を感じさせたりする工夫をしている。

<道徳性を育成するための工夫>

- ・巻末に1年間の学びをふり返るページが用意されており、1年間の自

分の変容を感じられるようになっていく。

・特色・内容

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫>

・1年では情報モラルについて話し合う教材、2年では地域社会の衰退やホームレス問題、3年では社会参画について話し合う教材が用意されている。3年では中学生が参加する海外の「模擬投票」の事例を紹介し、社会参画への意欲や態度を育めるようにしている。

<発達段階に則しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫>

・1年では「自分以外の多様な生き方から学ぶ」、2年では「他の生き方と自己を比較することで自己を見つめる」、3年では「自分に身についた道徳性を行き方と反映させ、自らの手で歩いていくための力を身につけていく」ための教材を集め、生き方は自由であると生徒に示している。

・価値の多様性を受け入れる寛容な心を育む項目として、1年の「二つの足跡」から、2年の「あなたが見えているもの」、3年の「あなたは どう思う」とすべてワークシート方式を取り入れ、思考と議論を年単位で積み重ねられるようにしている。

・「リョウとマキ」という3年間ストーリーの連続性を持たせている教材がある。主人公と自分自身を重ね合わせ、主人公が直面する悩みを共有し、道徳的問題として考えさせるように工夫している。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫>

・答えが1つではない道徳的な課題を、1人1人の生徒が自分自身の問題ととらえ、考え、議論できるように工夫されている。

・特色・資料

・学習指導要領の内容項目に対応し各教材に番号がふられている。

・視点ごとに3、4つ程度「もっと知りたい」や「話してみよう」「書いてみよう」などのページが設けられ、考えを深める工夫がされている。

・特色・表記・表現

・学習指導要領の4つの視点ごとに教材がまとまっている。

・難解語句は脚注で解説がされている。

【総括】

・未来社会に生きる生徒に生き方は自由であるということを知らせるために、発達段階に合わせた教材を集めている。「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」で生徒の学習の道筋を提示し、理解を深めさせる工夫がされている。

	以上である。
秋本会長	質問・意見等はあるか。
小林委員	本のサイズや重さ、本の厚さも含めてそういう部分での意見はあったか。各教科書を読み比べてみるとかなり差があると印象を受ける。そういうところで意見があれば紹介してほしい。
柿沼指導主事	<p>実際教科書を見ていただくと、大きさについては各教科書会社によって違っている。それについては研究・協議の中では意見等は主観が入ってしまうため出ていない。教科書のサイズが一番大きなものは学研である。</p> <p>また、県の資料3の後ろから2ページ目にある、教科書会社の総ページ数について内容項目の配当とともに載っているなのでこの辺も参考にしていきたい。</p>
秋本会長	<p>よろしいか。</p> <p>県からの資料11、12ページのところに大きさ、ページ数が表記されているということである。</p>
春山委員	<p>近年の世論というか教科書に関する問題として私は2つあると感じる。1つ目が教科書の重さ。実際に子ども一人がその教科書を毎日背負って学校に行くということがどのようなことなのかという観点を考えたことがなかった。「脱ゆとり教育」ということでそのことがすごく社会問題になってきていると感じている。重労働をして毎日学校に通っているようなものだという。小学生の発達段階においてこの「重さ」がどうなのかということが一点目。</p> <p>もう1つ中学校のことで「置き勉」が問題になっている。学校に置いていってしまうというのは教科書の重さだけの問題ではないと思うが、今までなかった観点として、やはり重さやページ数など本当にそれが必要なのかということを1度観点で考えなければならないというのが今一番私の関心である。</p>
秋本会長	他に質問はあるか。
仲山委員	今の時点では道徳の時間は副読本であつたり、文科省の資料であつたりいろいろ使っていると思うが、順序というのは4月始まったら何をやるかというのは年間の計画で立てるが、今度教科書になったときにはどうなるのか。配列というのは教科書会社によってみんな違うように見た。今度教科書になったときにあっちにとんだり、こっちにとんだりというのが現実にあると思う。順番通りにやっていると、中学生の学校生活に則した内容に配列されているのか。配列がされているとすれば、羽生・加須の子供たちはどの配列が良いのか考えなくてはな




	らないのかということを知りたい。
柿沼指導主事	教科書となっているので、基本的には教科書の配列を意識して各校において校長を中心に年間計画を立てている。ただ、各校ごとに0から作成するのは非常に大変であることから、各市で教科書が採択されたら教育課程の検討委員会というのを各学校から先生方を招集して開いている。その教育課程の検討委員会の中で、それぞれ道徳の教材についてもすばらしい教材、県の教材や羽生市では「道」というものがあるが、その教材を含めて、もちろん教科書の流れを中心として何教材か入れ替えようかというところで検討し、各校に配付している。それぞれの学校ではそのたたき台を基に年間で計画を作成している。
藤間学校教育課長	今の話に補足する。例えば中学校では、学習しなくてはならない内容項目が22項目ある。だが、道徳の授業は年間35時間ある。そうすると必ず教えなくてはならない内容項目22に対して道徳に時間は35時間あるわけで、残った時間をどうするかということになる。例えばA中学校では生命を大事にするということが学校の道徳の重点目標だったとすると、生命尊重に関する内容については1学期・2学期・3学期それぞれで扱うとか、それから各学年の重点項目もあるので、そういったものを複数時間扱うというようなかたちで年間35時間を構成する。なぜ「特別の教科道徳」というかということ、その目標自体がどの学校でも同じなものではなくて、学校によって生命尊重に一番重きを置いたり、規律を重点に置いたり等、学校の特色に応じて一番大事とする目標は変わってくるころにある。そのために年間35時間の持ち方が必ず学習しなければならない22項目プラスアルファ分で学校の特色が出るということが他の教科と違ってころである。その配列の仕方を学校独自で考えるころもあれば、市で大元を作ってそれを各学校にアレンジするというものもある。また、文科省の指導要領の解説にもあるが、必ず教科書で全部授業をしなければいけないということではなく、例えばその市等でその地域に関係ある郷土資料や良い資料をたくさん作っているころもあるので、そういったものも活用してくださいと明記されている。そういったころで本当は教科書にある郷土資料を使っても良いが、ここでは加須市や羽生市で作ったものを置き換えようというようなかたちで教材を変えようというものもある。以上である。
秋本会長	よろしいか。
仲山委員	では、各学校・各市で重点を置くテーマが決まっていたとして、使う教科書にそれなりのテーマに則した教材が少ないとすれば、差し替

	えも可能ということか。
渡邊委員	はい。
仲山委員	最初から生命尊重を大切にし、重点を置こうという学校があったり・市があったりした時に、別に教科書を採択する際に生命尊重のところが多い教科書を選ぶ必要も特にないということか。
渡邊委員	はい。
秋本会長	よろしいか、他にあるか。
柿沼委員	道徳ノートや付録がたくさん付いているところがあったが、それについて意見等は出ていたか。
柿沼指導主事	数社にわたり道徳ノートというものが別冊についていたりするが、他の会社でも後ろの方に振り返りということで入っていたりする。特に「外せる・外せない」について調査研究の中では意見は出ていなかった。
秋本会長	よろしいか、他にあるか。
渡邊委員	今の件について自分もいろいろ見ていると、道徳の本質にかかわってきそうな気がする。ある教科書では別冊となっている。これを見ると、資料と質問が出ている。質問も内容によって全部変わってくるということは、これで全て規定された流れができてしまうかなというように気がする。それから逆に別の会社の方は開けるとこうなってる。そうすると、どこのページも基本的に同じパターン、同じパターンというのはノートを作っていた時にひとつの自分のノートのパターンとたいして変わらないということで、場合によると例えばこれを使ったとして、ここの地域は流れを規定したもののほうが良いのか、流れは規定しないほうが良いのかこれは地域性だと思う。であるから、このことについてはきちんとわたしたちは見解を持って「もしこれを使うということになれば、こういう意図である」と、逆に「使う使わないに関わらず内容を重視する」となれば、内容で見ていく必要がある。自分が教科書を持ってきたのは、例えば中学2年生で、まだ他にもあったが「6000人の命」という教材がわりと出てきている。杉原千敏のことである。これを使って例えば国際理解や命の大切さを教えていきたいということになったらこの地域ではどちらを大切にしていけるのかいいのか同じ素材の場合は見られると思う。例えば、地域一つにしてもこちらの方には、このような地図が入っている。それから、こちらの方にはこういう地図が入っている。同じヨーロッパの地図であるが、矢印が入っているか、入っていないか、あるいは子どもたちにこの矢印の入っている意味を理解させたほうが良いのか、要するにドイツの

	<p>侵入という意味である。このことについて「どのように考えるか」、「そこからどのように逃げていくから日本は関係するのとかか」ということを、これはこの地図を使ってやるのではなくて、絵を描いてそれを提示してあげることによって対処できるということであれば地図はなくてもいいだろうということになる。あるいはどこまでこの文章のサインを見ていったらよいのかということ考える。教材というのはすごく重要であると思う。であるから、一番報告書の中で気になったことが、「継続して1年間を、自分の変容を確かめて次の年につなげていく」という表現とそれから「自己を見つめて、生き方について考えよう」その時点での考え方をやっていくというかたちの報告と両方あったが、その違いや効果というのは議論に残っていたか。継続して1年間とか3年間とか表現が出ているが、1年間・3年間という継続が重要なのか、その時その時の変容を大切にしているのか、それが積み重なっていった性格や、価値観が高められていくというような形で取り上げていったいいのか、小学校の道徳の教科書の場合にはどちらかというところ、その時その時の変容を大切にしていた教科書の素材設定だったような気がする。中学校は3年間を見通してという素材がすごく意図してすごく複雑なような気がする。わざわざ漫画を活用してみたり、長い長文を活用してみたりというかたちになってきているので、教科書を検討していった人はどちらをこの地域として重視していたのかその辺の話はあったか。</p>
柿沼指導主事	<p>話し合いの中では、いろいろな教科書会社を見比べる中で、確かにおっしゃるように3年間を見通したもの、例えば3人の主人公がいて、その成長を追ったものなどは2社あったが、そのような学年でつながる素材がかなり多いなという議論はあった。ただ、そこからもう一步踏み込んで、それがこの地域にどうなのかというところまで踏み込んだ議論の方は行われていなかったというのが現状である。</p>
秋本会長	<p>議論の中には入っていたということである。</p>
春山委員	<p>今の渡邊教育長の意見に関係するが、道徳の1時間の授業の中でお互いが考え・議論するということが自体がすごく大事なような気がする。その後で今日の授業がどうだったかとノートに一所懸命書く、そういうことが得意な子はとても良いノートを書く。その時に本当にこの1時間の授業でどのように心が変容したかということよりもどんな風に変ったのかは見た目では分からない。この書くという事の難しさがすごくあると思う。それが一番良く分かるのは実際に道徳の授業をやっている担任の先生が把握できるわけである。そここのところは難しい</p>

	<p>ので私にはわからないが、中学校のノートがあまりに書くところがたくさんあるということに関してはどうなのか。量というか書く道徳ではなくて、考え・議論するという部分をどう評価していくのか議論はあったか。</p>
秋本会長	<p>評価と量に関して事務局に説明を願う。</p>
柿沼指導主事	<p>書く量については、教科となって道徳を評価していかなければならないという視点からも調査・研究の中でも何らかの記録として残すという点は上がった。書く分量については、そこまで話し合いにはなかったが、記録としてしっかり残していく必要があるというところでの話し合いは行われた。</p>
渡邊委員	<p>では、逆に言えば提案・ひとつの考え方であるが、ノートについては一体化して教科書として出されてきているが、場合によっては無視して「使う・使わない」はそれぞれ学校の運営なり、授業の方針であって、基本的には教科書だけでわたしたちは判断していきますよというようなことにしてよいのか。場合によっては、これは一緒になっているからだめ、一緒になっているから良いというのではなくて、これはどうなのか、この教科書についてはどうかという観点で見いきましょう、ということでこの次までまた必死になって勉強してくるという形のほうが良いのではないか。</p> <p>ここだけははっきりしておいたほうがよい。これは、道徳ノートを別に作ってもいいんですよということを考えれば、このノートはあまりにも親切すぎてしまう。こちらの方のノートくらいの程度でよいのではという気がする。なくていいのにとと思うがこれも一体化して採択しなくてはならないのか。</p>
柿沼指導主事	<p>セットの教科書となっているのでそうである。</p>
秋本会長	<p>考え方として、ノートは授業の中で、教員の裁量として対応できる可能性があるということも含めて、この19採択地区は考えても良いかという意見であると思うがよいか。</p>
小林委員	<p>各学校の考えでいいのではないかという気がするが、いけないか。</p> <p>学校独自で判断していいという方に入るのはないか、理論的にはそれも含めてまとめ方をどのように訴えようとしているかという判断をすると、実際に決まったときに各学校でそこまでは拘束はしないということはどうだろうか。</p>
齋藤指導主事	<p>ノートについては、あるから助かるという意見もあったし、逆にあることでとらわれすぎてしまってあまり使いたくないという両方の意見がある。</p>

秋本会長	今事務局から話があったような意見も参考にしながらとうことである。
渡邊委員	ただ、法的も含めて一冊になっていた場合、含めて教科書になっていた場合にはノートの拘束力というのはどうなのか。この次までにこれを調べてきてほしい。
事務局	調べる。
秋本会長	では、次回事務局より回答をお願いします。
小林委員	同じテーマで扱っていて、例えば3年生の道徳の教科書の中には「2通の手紙」というのを扱っている教科書会社が2社ある。本文は共通して読めるが、その後のまとめ方、ヒント等について各会社が独自の良かれと思う提言というかたちでもって出す。そこはかなり由々しさがあると思うが、それは学校の先生にとってもそこまではいらぬという先生もいるのかもしれないが、どの時代でも気づかなかつたポイントというのは大事だねというヒントの中に出ている会社もあると思うので、かなり教科書会社の中には差がある。今調査報告書の中では、繰り返しになるが、あまり差をつけない、良いところを指摘してくれているが、実際に読んでみると、学校の先生方からすると後ろの部分がすごく気をするのではないか。ということで学校での評価はどうなっているか。興味を強く持っているということ意見を意見としてあげたい。
秋本会長	意見として受け止める。
柿沼委員	教科書の中で漫画が入っているものがいくつかあるが、漫画は休憩時間のようなもので必要があるのかと思うことがある。漫画で本山さんという子どもたちがよく見る漫画家のものが2社あったが、どちのテーマもいじめだったので、勉強が不得意な子に向けてはちょうど良い題材で漫画も良いと思ったのだが、そういうことに関して漫画はどうなのかという話はあったか。
柿沼指導主事	調査・研究の中で取り上げ、教材について確かに漫画というのが多く入っているというのが話し合いに上った。中学校の先生たちが調査・研究委員なので子どもたちの様子を見ると、文章よりやはり漫画でスツと入ってくる子も多いと。なかなか文章で入ってこれない子には漫画というのもひとつ必要な手段ではないかというところで、漫画教材については評価している委員もいた。
秋本会長	他にあるか。
仲山委員	教科になる前は、評価（保護者に連絡する通信簿の文字にしたもの）はなかったか。今度特別の教科になると保護者にこういう評価であると出すことについて、この教科書は後ろに学習の進め方が書いてある

	ものとそうでないものがあって評価するのに参考になるからこの教科書でということはあるのか。話し合いの議論でそういうことは出たか。
柿沼指導主事	評価を念頭に置いた話し合いはなかったが、評価というものも先ほどもあったように視野に入れて記録を残していかなければならないと、その記録の残し方について巻末の別冊を使うのもよし、道徳ノートを作ってもいいのではないかというところでいろいろな意見は出ている。一つに絞ったものはない。
秋本会長	他にあるか。よろしいか。
各委員	(特になし)
秋本会長	皆様の御協力により、全ての教科書の報告が円滑に終了することができた。これで議長の任を解かさせていただく。
細村学校教育課長	事務連絡を事務局より申し上げる。
柿沼指導主事	【事務局より連絡】 ・第3回採択地区協議会について 19採択地区は7月13日にワークヒルズ羽生 会議室(2) に行う。ホームページでは特別会議室で実施するとなっているが、隣の部屋の方が広いので変更して会議室(2)で行うことになった。場所が変更になっているので注意いただきたい。以上である。
細村学校教育課長	【閉会】
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>平成30年 7 月 23 日</p> <p>署名 <u>秋本文子</u> </p> <p>署名 <u>渡邊義昭</u> </p> <p>署名 <u>春山教子</u> </p>	